

各 位

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
 代表者名 代表取締役社長 寺井 和彦
 (JASDAQ 市場 銘柄コード:4764)
 問い合わせ先 取締役 経営管理グループ長 佐藤 真由美
 TEL:06-6363-2322(代)

平成 24 年 1 月 期 第 3 四 半 期 連 結 業 績 と 前 年 同 期 実 績 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成 24 年 1 月 期 第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (平 成 23 年 2 月 1 日 ~ 平 成 23 年 10 月 31 日) の 当 社 連 結 業 績 に つ き ま し て、 前 年 同 期 (平 成 22 年 2 月 1 日 ~ 平 成 22 年 10 月 31 日) の 実 績 値 に 対 し て、 下 記 の と お り 差 異 が 生 じ ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 24 年 1 月 期 第 3 四 半 期 連 結 業 績 (平 成 23 年 2 月 1 日 ~ 平 成 23 年 10 月 31 日) の 連 結 業 績 と 前 年 同 期 実 績 値 と の 差 異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
平成 23 年 1 月 期 第 3 四 半 期 (前 年 同 期) (A)	128	△118	△120	△137	△5,092.97
平成 24 年 1 月 期 第 3 四 半 期 (B)	120	△40	△40	△50	△1,893.80
増減額 (B-A)	△7	78	80	86	—
増減率	△5.9%	—	—	—	—

2. 差異の理由

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で寸断されたサプライチェーンの早期復旧により、企業の生産活動が持ち直すなど、足元の景気は緩やかな回復基調にあるものの、電力供給の制約や円高によって製造業を中心に厳しい状況が続いており、円高や、株式市場低迷の長期化も予想されるなど、日本経済の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、自社ネットワーク製品及びモデリング技術を活用したビジネスの推進に加え、株式会社リミックスポイントとの業務提携により、デジタル画像、映像に関連する処理技術等を当社のソリューションの一部とすべく販売活動を行ってまいりました。

リアルエステート事業におきましては、仲介及び不動産買取再販で固定費を補い、同分野に画像、映像の関連するソフトウェアサービスの提案を実施してまいりました。

以上の結果、当第 3 四半期連結累計期間におきましては、業績の改善傾向が見られたものの、費用を補えるだけの収益を確保することができず、売上高 120,726 千円 (前年同期比 5.9%減)、営業損失 40,098 千円 (前年同期は営業損失 118,956 千円)、経常損失 40,108 千円 (前年同期は経常損失 120,393 千円)、四半期純損失 50,962 千円 (前年同期は四半期純損失 137,051 千円) となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(BT事業)

BT事業におきましては、自社ネットワーク製品及びモデリング技術等を活用したシステム開発サービスの受注活動を継続して行うと共に、画像、映像に関連するソリューションを活用した販売活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第 3 四半期連結累計期間におきましては、売上高 95,860 千円 (前年同期比 12.9%増)、営業損失 5,026 千円 (前年同期は営業損失 43,561 千円) となりました。

(リアルエステート事業)

連結子会社ディーキューブにおきまして不動産仲介業務で固定費を補い、同分野に画像、映像の関連するソフトウェアサービスの提案を実施してまいりました。

以上の結果、当第 3 四半期連結累計期間におきましては、売上高 30,206 千円 (前年同期比 34.1%減)、営業利益 9,470 千円 (前年同期は営業損失 38,928 千円) となりました。

以上